

第11回

「南アルプスを知ろう！」

古(いにしえ)から未来まで

2017.3.18(土) 13:30~16:00(明後日13:00)

会場 静岡県総合研修所 もくせい会館 静岡県静岡市清水区藤原3-6-1

入場無料
申込み不要



講演①

「南アルプスの昔」

多様な豊富な南アルプスの植物群落や高山域に及ぶ広大な森林について、江戸時代以降の森林開発と自然保護の歴史をお話しします。

講師／近田 文弘氏 (国立科学博物館名誉研究員)

1941年新潟県生まれ、京都大学大学院理学研究科終了、博士(理学)。静岡大学助教授、国立科学博物館植物研究部部長などを歴任。専門は植物分類学。

昭和40年代から50年代にかけて、南アルプスの山地帯から高山帯において植生調査を機力的に行い、その成果を「南アルプス・奥大井地域学術調査報告書」(昭和50年)、「静岡県の植物群落」(昭和56年)に纏めました。

現在は、静岡県レッドデータブックの改訂に向け監修委員を務めています。

講演②

「南アルプスにおける昆虫相調査」

固有種の昆虫をはじめとする興味深い南アルプスの昆虫について、現地調査の様子を含めてご紹介します。

講師／岸本 年郎氏 (ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)

1971年大阪府生まれ、東京農業大学農学研究科終了、博士(農学)。専門は昆虫分類学、生物地理学。

世界で5万3000種も知られている甲虫のハネカクシの分類が専門。それぞれを一種一種明らかにしていく研究を通して自然の姿を探っています。

最近、飯田市美術館博物館との合同調査により、南アルプスにおいてハネカクシ3種とゴキムシ1種の計4種の未知であった種を発見し、新種として発表する準備をしています。

プログラム

13:00~13:30 受付

13:30~13:40 開会挨拶

13:40~15:00 講演／近田 文弘氏
(国立科学博物館名誉研究員)

「南アルプスの昔」

15:00~15:10 休憩

15:10~16:00 講演／岸本 年郎氏
(ふじのくに地球環境史ミュージアム准教授)
「南アルプスにおける昆虫相調査」

16:00 閉会

会場案内

会場には、公共交通機関をご利用ください。

静岡県総合研修所 もくせい会館 静岡県清水区藤原3-6-1

JR静岡駅北口から徒歩約15分
静岡自動車駅から徒歩約5分

JR静岡駅北口5番・6番乗場及び新静岡駅3番・4番乗場から乗車し
「水窪町もくせい会館入口」下車

